

工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
要領名 年月	表紙	工事完成図書の電子納品等要領(案)【機械設備工事編】 平成 25 年 6 月(平成 25 年 10 月 1 日適用)	表紙	工事完成図書の電子納品等要領【機械設備工事編】 平成 31 年 3 月(平成31年10月1日適用)
はじめに	表紙裏面	本基準においては、 国土交通省「工事完成図書の電子納品等要領(案)【機械設備工事編】」(平成24年12月) を基本に、管理項目の登録事項等を横浜市版として理解しやすく	表紙裏面	本基準においては、 国土交通省「工事完成図書の電子納品等要領【機械設備工事編】」(平成28年3月) を基本に、管理項目の登録事項等を横浜市版として理解しやすく
1 適用	1	工事完成図書の電子納品等要領(案) 機械設備工事編	1	工事完成図書の電子納品等要領 機械設備工事編
2 用語の定義	3	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード(国土交通省)	3	CAD 製図基準 機械設備工事編 電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード(国土交通省)
3 フォルダ構成	4	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード(国土交通省)	4	CAD 製図基準 機械設備工事編 電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード(国土交通省)
3 フォルダ構成【解説】	7	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編	7	CAD 製図基準 機械設備工事編
3 フォルダ構成【解説】	8	「REGISTER」及び「OTHR」フォルダの、「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダ内には任意でフォルダを作成することができるが、階層は、「7-1 電子成果品」において使用を原則とする CD-R の論理フォーマットの制約からルートから数えて最大 8 階層までとなることに注意する。	8	「REGISTER」及び「OTHR」フォルダの、「ORGnnn」オリジナルファイルフォルダ内には任意でフォルダを作成することができるが、階層は、「7-1 電子成果品」において使用を原則とする CD-R の論理フォーマットの制約から階層の制限は無いが、全体のパスの文字数は 120 文字までとなることに注意する。
表 4-1 工事管理項目適用要領基準	9	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「機械 201212-01」で固定)を記入する。(分野:機械、西暦年:2012、月:12、版:01)	9	電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「機械 201603-01」で固定)を記入する。(分野:機械、西暦年:2016、月:03、版:01)
表 4-1 工事管理項目	10 ~ 12	CORINS TECRIS	10 ~ 12	コリンズ テクリス
工事実績システム登録番号	10	CORINS センターが発行する受領書に記載される番号を記入する。 CORINS 登録番号がない工事は「0」を記入する。	10	コリンズ・テクリスセンターが発行する登録内容確認書に記載される番号を記入する。 コリンズ登録番号がない工事は「0」を記入する。
測地系	11	日本測地系、世界測地系(日本測地系 2000)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(日本測地系 2000)は「01」を記入する。	11	日本測地系、世界測地系(JGD2000)、世界測地系(JGD2011)の区分コードを記入する。日本測地系は「00」、世界測地系(JGD2000)は「01」、世界測地系(JGD2011)は「02」を記入する。
対象水系路線名	11	CORINS の路線・水系名等に従って記入する。	11	テクリスの路線・水系名等に従って記入する。
発注者コード	12	文字数:127 記入者:□	12	文字数:8 固定 記入者:■

工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
(1) 基礎事項	13	CORINS(コリンズ: Construction Records Information Service)は、「工事実績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。	13	コリンズ (Construction Records Information System)は、「工事実績と技術者のデータベース」であり、公共工事の一般競争入札方式等の入札・契約手続きを支援する。
1)「住所コード」(必須記入項目)	13	住所コードは工事対象地域が位置する都道府県または市区町村を表し、CORINSの施工場所コード表を参考に記入する。	13	住所コードは工事対象地域が位置する都道府県または市区町村を表し、 下記 URL で公開されているコード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/
(G) 境界座標(必須記入項目)	15	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	15	「境界座標」は、世界測地系(JGD2011)に準拠する。 なお、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標(緯度経度)に変換する必要はない。
発注者コード <追加>	15		15	(3) 発注者に関わる情報の記入 発注者コードは、 下記 URL で公開されているコード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/
表 4-2 台帳管理項目 台帳オリジナルファイル名	16	台帳のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子含む) データ表現: 半角英数大文字 文字数: 12 記入者: ▲	16	台帳のオリジナルファイル名を記入する。(拡張子を含む) データ表現: 半角英数大文字 文字数: 13 記入者: ▲
表 4-2 台帳管理項目 資料オリジナルファイル名	17	台帳のオリジナルファイル名の拡張子を含めて記入する。 データ表現: 半角英数大文字 文字数: 12 記入者: □	17	台帳のオリジナルファイル名 を 拡張子を含めて記入する。 データ表現: 半角英数大文字 文字数: 13 記入者: □
4-2 台帳管理項目	18	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	18	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
4-2 台帳管理項目	19	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	19	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-3 その他管理項目 オリジナルファイル名	20	オリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。データ表現: 半角英数大文字 文字数: 12 記入者: ▲	20	オリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。データ表現: 半角英数大文字 文字数: 13 記入者: ▲
表 4-4 実施仕様書管理項目 施設コード	22	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	22	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-5 計算書管理項目 施設コード	24	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	24	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-6 施工図管理項目 施設コード	26	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	26	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-7 機器図管理項目 施設コード	28	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	28	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード

工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
表 4-7 機器図管理項目 機器コード	28	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	28	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-8 施工管理記録書 管理項目 施設コード	30	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	30	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-8 施工管理記録書 管理項目 機器コード	30	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	30	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-9 取扱説明書管理 項目 施設コード	32	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	32	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-9 取扱説明書管理 項目 機器コード	32	電子納品要領(案) 機械設備工事編 施設機器コード	32	電子納品要領 機械設備工事編 施設機器コード
表 4-10 施工計画書管理 項目 施工計画書オリジナルファイル名	34	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：▲	34	施工計画書の文書、図面等のオリジナルファイル名を拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：13 記入者：▲
表 4-11 打合せ簿管理 項目 (2/2) 打合せ簿オリジナルファイル名	37	打合せ簿のファイル名を、拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：12 記入者：▲	37	打合せ簿のファイル名を、拡張子を含めて記入する。 データ表現：半角英数大文字 文字数：13 記入者：▲
表 4-12 工種区分の 記入可否の目安	39	出来形管理の種別、細別は、それぞれ種別-○、細別-○	39	出来形管理の種別、細別は、それぞれ種別-△、細別-△
5 ファイル形式	40	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編 地質・土質調査成果電子納品要領(案) (国土交通省)	40	CAD 製図基準 機械設備工事編 地質・土質調査成果電子納品要領 (国土交通省)
5 ファイル形式【解説】	41	CAD 製図基準(案) 機械設備工事編	41	CAD 製図基準 機械設備工事編
5 ファイル形式【解説】	41	拡張子が4文字以上、ファイル間でリンクや階層をもった資料 など、	41	ファイル間でリンクや階層をもった資料など、
6 ファイルの命名規則	42	・ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。	42	・ファイルはファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 各オリジナルファイルの拡張子は、4文字でもよい。





工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
図 6-1	42	拡張子3文字以内	42	左記削除
図 6-8	46	拡張子3文字以内	46	左記削除
図 6-9	47	拡張子3文字以内	47	左記削除
6 ファイルの命名規則	48	・ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。	47	・ファイルはファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とする。 各オリジナルファイルの拡張子は、4文字でもよい。
(1) 共通規則	47	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、拡張子3文字以内とする。	47	ファイル名の文字数は、半角（1バイト文字）で8文字以内、拡張子3文字以内とする。各オリジナルファイルの拡張子は、オリジナルファイル作成ソフト固有の拡張子とし、文字数は4文字でもよい。
7-1 電子成果品	49	<ul style="list-style-type: none"> 上記の3条件を満たす電子的な納品的手段として、CD-R（一度しか書き込みができないもの）の使用による納品、… CD-Rの論理フォーマットは、IS09660（レベル1）を原則とする 基本的には、1枚のCD-Rに情報を格納する。 複数枚のCD-Rになる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 基本的にはCD-Rの使用とするが、特定のシステムに依存しないフォーマット形式や再生ドライブの普及度を考慮して、DVD-Rも協議により可とする。 DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。 	49	<ul style="list-style-type: none"> 上記の3条件を満たす電子的な納品的手段として、CD-RまたはDVD-R（一度しか書き込みができないもの）の使用による納品、… 基本的には、一枚の電子媒体に情報を格納する。 複数枚の電子媒体になる場合は、「7-3電子媒体が複数枚に渡る場合の処置」に従う。 CD-Rの論理フォーマットは、Jolietを原則とする。 DVD-Rにデータを記録する（パソコンを使って記録する）際のファイルシステムの論理フォーマットは、UDF（UDF Bridge）とする。
7-2 電子媒体の表記規則	51	・電子媒体を収納するケースの背表紙には、「工事名称」、「作成年月」を横書きで明記する。	-	左記削除


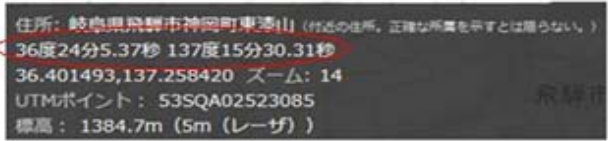
工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
図 7-1 電子媒体への表記例	51	フォーマット形式：ISO9660 (レベル 1)	51	フォーマット形式：Joliet
7-2 電子媒体の表記規則	51	・プラスチックケースのラベルの背表紙には、以下の例のように記載する。工事名が長く書ききれない場合は頭から書けるところまで記入する。 例：平成○年度○○○○○○○○○○工事平成○年○月 (長い場合) 平成○年度○○○○○○○○○○ 平成○年○月	-	左記削除
(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>機械 201212-01</適用要領基準>	付 2- 1	<基礎情報> <メディア番号>2</メディア番号> <メディア総枚数>3</メディア総枚数> <適用要領基準>機械 201603-01</適用要領基準>
(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 2	<場所情報> <測地系>01</測地系>	付 2- 2	<場所情報> <測地系>02</測地系>
(1) 工事管理ファイルの記入例	付 2- 2	<発注者情報> <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>○○地方整備局</発注者-中分類> <発注者-小分類>○○事務所</発注者-小分類> <発注者コード>10102124</発注者コード>	付 2- 2	<発注者情報> <発注者-大分類>国土交通省</発注者-大分類> <発注者-中分類>○○地方整備局</発注者-中分類> <発注者-小分類>○○事務所</発注者-小分類> <発注者コード>02107999</発注者コード> </発注者情報>
1) 住所コード	付 4- 1	CORINS 登録工事の場合は、着工時にそれぞれのシステムに記入した該当データを各管理項目に記入する。CORINS の登録対象外の工事の場合は、下記 URL で公開されているコード表を参照し、該当するコードを記入する。 CORINS 施工場所コード http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.htm	付 4- 1	住所コードは、下記 URL で公開されている住所コード表から選択し、記入する。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/ 住所コードは、総務省が公開している全国地方公共団体コード 6 桁のうち第 6 桁の検査数字を除いた 5 桁の数字である。第 1 桁及び第 2 桁の 2 桁の番号が都道府県コード、第 3 桁、第 4 桁及び第 5 桁の 3 桁の番号が市区町村コードである。下記 URL で全国地方公共団体コードが公開されている。 総務省 全国地方公共団体コード http://www.soumu.go.jp/denshijiti/code.html
5) 境界座標(緯度経度)	付 4- 3	「境界座標」は世界測地系(日本測地系 2000)に準拠する。	付 4- 4	「境界座標」は、世界測地系(JGD2011)に準拠する。なお、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標に変換する必要はない。

工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
1) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス	付 4- 4 ~ 4-	測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html 	付 4- 5	測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html 【(A) 境界座標の取得方法】を削除
2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 4- 7	2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 4- 6	2) 地理院地図(電子国土 Web) による境界座標の調査方法
2) 地図閲覧サービス(国土地理院)による境界座標の調査方法	付 4- 7	2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「地図閲覧サービス ウォッチズ」が表示される。 http://watchizu.gsi.go.jp/ 3. 「検索画面」から、該当する地域をマウスで選択する。  <p>図付 3-4 対象範囲の左下の指示</p>	付 4- 6	2. Web ブラウザより下記 URL のホームページに接続すると、「 地理院地図 」が表示される http://maps.gsi.go.jp/ 3. 画面下部の  をクリックするか、地形図上任意点を右クリックし、コンテキストメニュー(住所、経緯度等の位置情報)を表示する。(その時点で表示されている地形図中心の位置情報が表示される。)  <p>図付 4-2 コンテキストメニューの表示</p>
		4. 表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。		4. 適宜、拡大・縮小・スクロール等の操作を行い、該当する 地域を表示し 、表示された地形図上で、1 で確認した対象範囲の左下隅をマウスでクリックする。 付図 3-3 対象範囲の左下の指示

工事完成図書の電子納品等要領 【機械設備工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新	
	頁	内容	頁	内容
		<p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された北緯を「南側境界座標緯度」、東経を「西側境界座標経度」に記入する。</p>  <p>図付 3-5 緯度経度の表示</p> <p>6. 4、5 と同様の手順で対象範囲の右上隅をマウスでクリックし、表示された北緯を「北側境界座標緯度」、東経を「東側境界座標経度」に記入する。</p>		<p>5. クリックした地点の緯度経度が表示される。表示された緯度を「南側境界座標緯度」、経度を「西側境界座標経度」に記入する。 (緯度、経度は度-分-秒単位で記入する。)</p>  <p>付図 3-4 緯度経度の表示</p> <p>6. 4、5 と同様の手順で対象範囲の右上隅をマウスでクリックし、表示された緯度を「北側境界座標緯度」、経度を「東側境界座標経度」に記入する。</p>
4) 都道府県の東西南北端点と重心の経度緯度の調査方法	付 4- 10	(参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/CENTER/center.htm	付 4- 9	(参照先：日本の東西南北端点の経度緯度) 国土地理院 http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/center.htm